

## 佐賀市老人クラブ連合会 単位老人クラブ会長へのアンケート

佐賀市老人クラブ連合会の理事研修会の折、単位老人クラブの会長へのアンケートを実施する必要があるとの意見があり、平成 29 年 9 月の理事会において、校区老連会長を通じて 305 の単位クラブ会長へのアンケートを実施した。

このアンケートの結果を今後の佐賀市老人クラブ連合会の運営に活かし、意義あるアンケートとすべく内容分析を行うこととします。 平成 29 年 11 月吉日

佐賀市老人クラブ連合会 会長 木下 治紀

## アンケートの分析について

各校区老連会長を通じて 305 の単位クラブ会長にお願いし、246 の単位クラブ会長から回答があった。回答率 80.66% であった。一部の校区老連よりの回収がなかったことは非常に残念であり、会長の熱意・責任感が問われるものである。

問 1 については平成 29 年 4 月 1 日現在を分析しており、問 2 以降 246 のクラブ会長からの回答を集計・分析したものである。

## ●単位クラブの現状

問 1. 貴単位クラブの会員数 平成 29 年 4 月 1 日現在

① 男 5,327 人 ②女 7,698 人 ③計 13,025 人



### 分析・評価

最小のクラブは 5 人、最大のクラブは 111 人となっている。

問 2. 会員の年齢 (これ以降は回答 246 の分析)

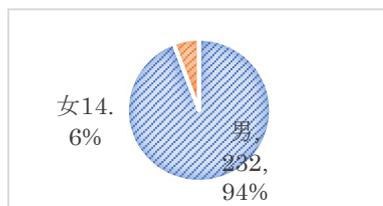
① 一番若い人 55 歳 ②一番の高齢者 107 歳  
一番若い人の平均年齢 67.29 歳  
一番の高齢者の平均年齢 93.17 歳

### 分析・評価

会員全体の平均年齢は不明であるが、若年層の老人クラブへの加入があまり見えてこない。55 歳での加入は特別だと思うが、若年の平均年齢が 67.29 歳とは注目すべき数値ではあるが、多くの若年会員が増えることを期待したい。

問 3. 貴単位クラブの会長の性別と年齢

① 男 232 人 平均年齢 76.89 歳  
② 女 14 人 平均年齢 73.07 歳  
③ 年齢 76.67 歳



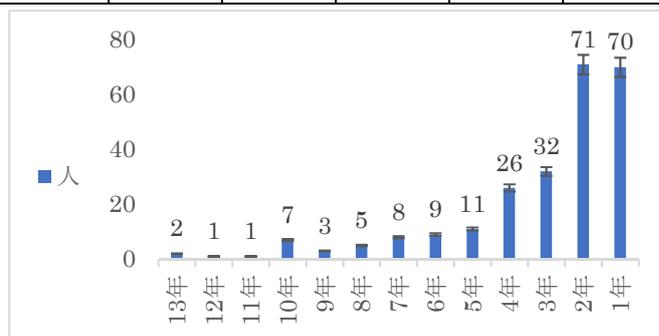
### 分析・評価

男性会長が 232 人と 94% となっており、今後は女性会長を増やすことが必要である。

女性会員が約 60%がおられることで、女性会長を増やす努力をお願いしたい。

問 4. 貴単位クラブの会長としての年数は

年数	人	年数	人	年数	人
13 年	2	8 年	5	3 年	32
12 年	1	7 年	8	2 年	71
11 年	1	6 年	9	1 年	70
10 年	7	5 年	11		
9 年	3	4 年	26	合計	246

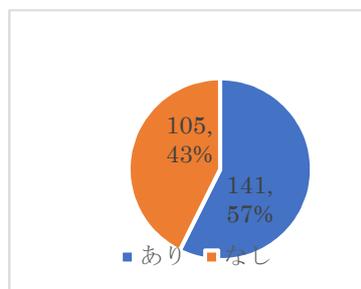


### 分析・評価

単位クラブの会長を長い人は 13 年間続けられている。5 年以上が 47 人、4~3 年が 58 人、2 年未満が 141 人となっている。後継者の育成が課題となるので、常に後継者育成に努力して頂きたい。

問 5. 貴単位クラブの会則は

① ある 141 ②ない 105



### 分析・評価

会則が無いクラブが結構存在(105 クラブ)している。出来るだけ会則は作成して頂きたい。会則例は市老連や校区老連に相談をして頂きたい。

問6. 貴単位クラブの役員体制であるものは

- ① 会長 ②副会長 ③総務 ④会計 ⑤監事  
⑥その他

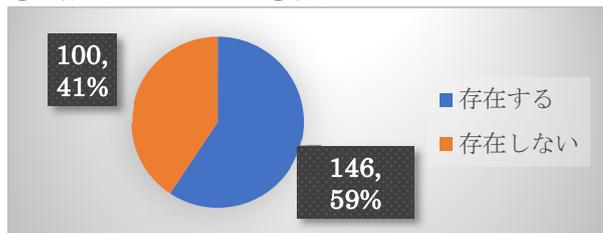
役職	数	役職	数	役職	数
会長	246	世話役	1	交通委員	4
副会長	165	相談員	1	体育委員	10
総務	26	役員	5	顧問	1
会計	232	会計補佐	1	防災委員	1
監事	96	班長	31	福祉委員	4
理事	13	連絡員	5		
評議員	9	女性委員	32		

分析・評価

会長がいない所は無いが、副会長が意外と少ないような気がする。会計が232人と調査クラブ246で14クラブで会計が無く会長が兼務されていると思うが会計はぜひ必要である。監事が意外に少なく96人となっており、年度初めの総会時には決算報告が必要であることから適切に対応して貰いたい。その他として役員、連絡員、班長と会員との連絡調整役として設置されているのを確認した。

問7. あなたのクラブで後継者は

- ① 存在する 146 ②存在しない 100

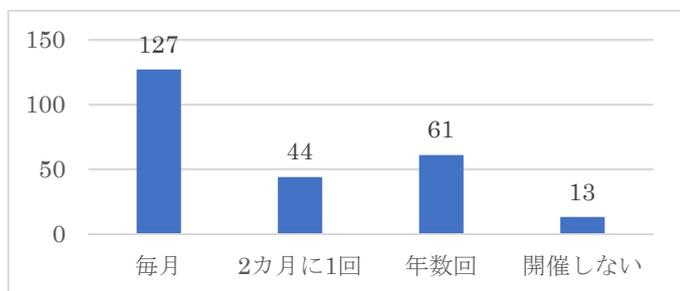


分析・評価

問6でも副会長の存在が165と81のクラブで副会長が存在していない。やはり、後継者は副会長より次期会長として現会長の補佐をしながら後継者育成を。

問8. 貴単位クラブの例会開催状況は

- ① 毎月1回 127 ②2カ月に1回 44 ③年数回 61  
④ 開催しない 13



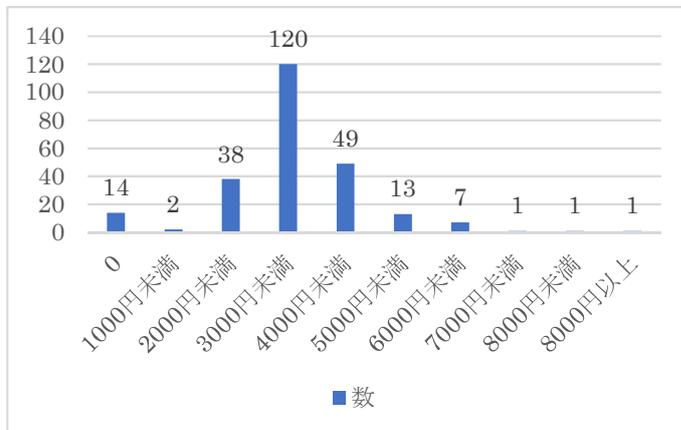
分析・評価

毎月開催が127(51.6%) 2カ月に1度が44(17.9%) 年数回が61(24.8%)で開催しないが13(5.3%)あり年数回や開催しないが30.1%あることは問題である。

問9. 単位クラブの会費は年いくら

平均会費 2,314円

金額	数	金額	数
0	14	5,000円未満	13
1,000円未満	2	6,000円未満	7
2,000円未満	38	7,000円未満	1
3,000円未満	120	8,000円未満	1
4,000円未満	49	8,000円以上	1



分析・評価

一番多いのは2,000円以上3,000円未満が多い(120)、次いで3,000円以上4,000円未満となっているが、会費0が14クラブあるが、ちゃんと活動しておられるのか心配である。全体の平均では2,314円となっている。男女で会費に差をつけているクラブがある。

問10. 夫婦割引はあるのか

- ① ある 1 ②ない 245  
② ①の場合どの程度か 3,400円を1,400円にしている。

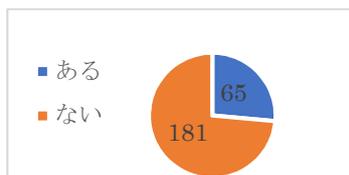


分析・評価

夫婦割引を制定しているクラブは1つであり非常に珍しい。

問11. 高齢者割引はあるのか

- ① ある 65 ②ない 181  
① の場合どの程度か おおむね半額となっているが88歳以上は全額免除となっていることが多い。

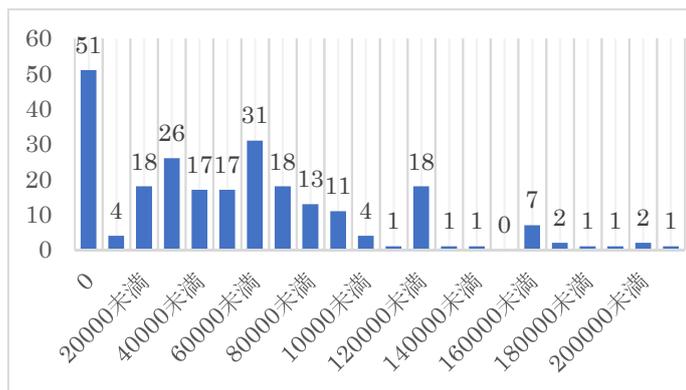


分析・評価

高齢者割引は88歳以上は設定されているクラブがあるが、高齢化により該当年齢の一考がある。

問 12. 自治会からの助成は

金額	数	金額	数
0	51	110,000 円未満	1
10,000 円未満	4	120,000 円未満	18
20,000 円未満	18	130,000 円未満	1
30,000 円未満	26	140,000 円未満	1
40,000 円未満	17	150,000 円未満	0
50,000 円未満	17	160,000 円未満	7
60,000 円未満	31	170,000 円未満	2
70,000 円未満	18	180,000 円未満	1
80,000 円未満	13	190,000 円未満	1
90,000 円未満	11	200,000 円未満	2
100,000 円未満	4	200,000 円以上	1

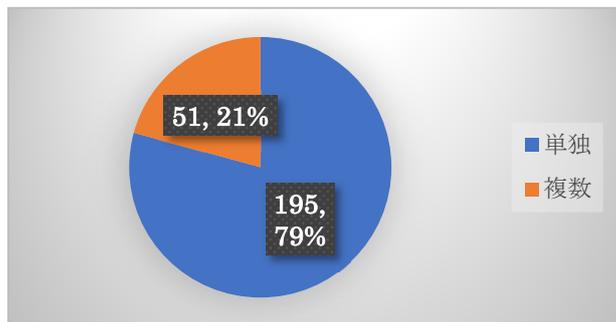


分析・評価

自治会により大幅な開きがある。助成なしのクラブが 51 もあり、自治会長に助成するように要請する必要があるが、一方、助成のあっているクラブで 100,000 円以上 200,000 円の助成の所もある。積極的に自治会に要請をしましょう。

問 13. 単位クラブの組織は

- ① 単独の自治会で組織 195
- ② 複数の自治会で組織 51

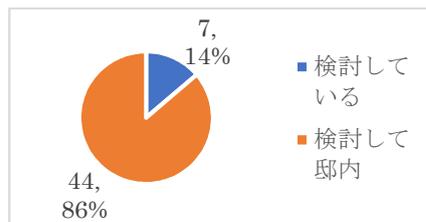


分析・評価

単独での組織が主流ではあるが、複数の自治会に組織されているクラブもあり、1自治会1クラブをモットーに努力されたい。

問 14. 問 13 で②に回答された者に 1 クラブ 1 自治会への移行について 平均 2.58 の自治会で組織している。

- ① 検討している 7
- ② 検討していない 44

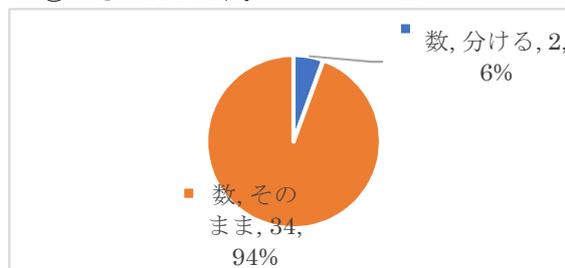


分析・評価

複数の自治会での組織が 51 クラブの内、7 クラブで 1 自治会 1 クラブへの移行を検討されているが、44 のクラブはそのまま継続との判断である。要は会員数の 30 人の問題であると思うが、会員増強をして 1 自治会 1 クラブへの思いを強くしてもらいたい。

問 15. 会員が 60 名以上のクラブに

- ① クラブを 2 つに分けたい 2
- ② そのままで良い 34



分析・評価

大半のクラブが現状のまま継続との考えである。要は役員の成り手が問題ではないか。

問 16. 問 15 で①を記載された者に役員の成り手は

- ① ある 0
- ② ない 2

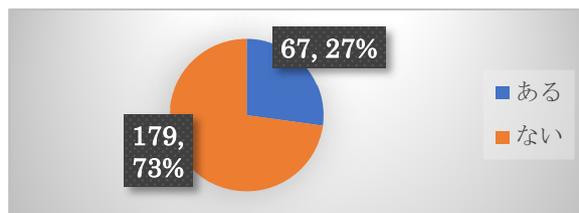
分析・評価

やはり、役員の成り手がないことが確認された。

●広報活動について

問 17. 単位クラブの広報紙は

- ① ある 67
- ② ない 179

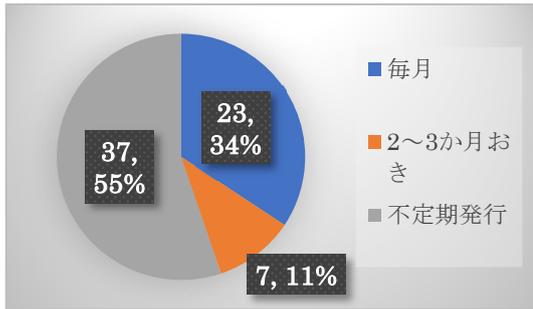


分析・評価

単位クラブでの広報紙利用は少ないことが判明。

問 18. 問 17 で①のあると回答した者で発行時期は

- ① 毎月発行 23
- ② 2～3 か月おきに発行 7
- ③ 不定期発行 37

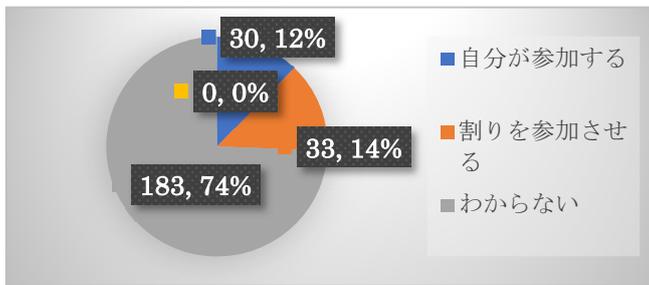


**分析・評価**

広報紙は定期的に発行し、会員及び未加入者にも配布して老人クラブの活動を紹介します。

問 19. パソコン教室や広報紙の作り方の講習会があれば

- ① 自分が参加する 30
- ② 代わりを参加させる 33
- ③ わからない 183

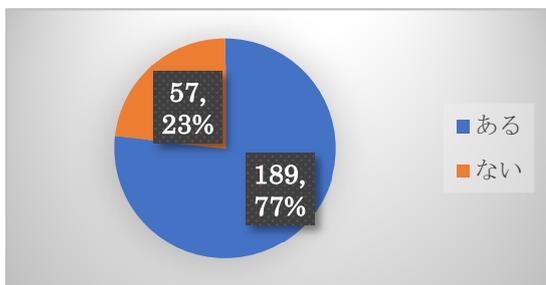


**分析・評価**

判らないが 183 と多いが、自分で参加するも 30、代わりを参加も 33 ①と②で 63 あり、市老連では高齢者パソコン教室を開講しており、どしどしパソコン教室に参加して貰い、単位クラブの広報紙を大いに発行して頂きたい。

問 20. ポスター等を啓示する場所はあるのか

- ① ある 189
- ② ない 57



**分析・評価**

公民館等に掲示する場所があるのなら、老人クラブ関係の活動チラシやポスターを地区の公民館に掲示して、老人クラブの活動を知らせてもらうことが大事です。

**●単位クラブの活動について**

問 21. 単位クラブで人気のある行事を 3 つあげると

1 番目		2 番目		3 番目	
忘新年会	70	G G	45	旅行	40
G G	37	食事会	33	G G	30
旅行	34	旅行	28	食事会	25
食事会	27	忘新年会	20	ペタンク	19
誕生会	27	カラオケ	17	忘新年会	11
G B	4	ペタンク	14	G B	8
		誕生会	11	カラオケ	9
		スポーツ活動	8		
		G B	4		

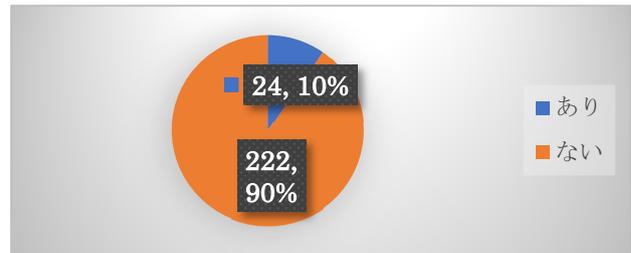
**分析・評価**

やはり老人クラブの楽しみは飲食を伴うのが楽しみとされている。補助金をこういった飲食の一部として認めてもらえれば、老人クラブの会員も増えることになると思うのだが・・・

問 22. 改善したり、見直したりしたいと思う事業が

- ① ある 24
- ② ない 222

① を記載した方へどんなことか・・・7P 参照

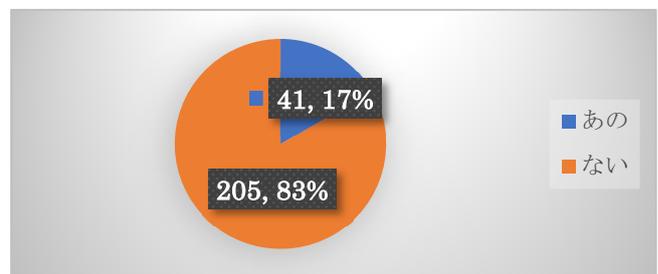


**分析・評価**

改善点がないと回答は 90% と多く、改善したいと考えられている会長は 10% と少ないようだが、別添 7P により改善する方向での前向きな考えでいられるのを期待したい。

問 23. 貴単位クラブでサークルはあるのか

- ① ある 41
- ② ない 205

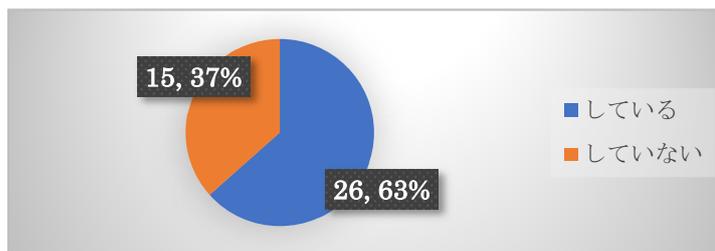


**分析・評価**

単位クラブにサークルがあるのは 17% と少ないが、色々なサークルで活動して頂きたい。出来れば複数のクラブとか校区老連でのサークルを検討されて会員増加を図って頂きたい。

問 24. サークルに支援しているか

- ① している 26 ②していない 15  
 ①に記載した者 いくら支援しているか  
 別添 7P 参照

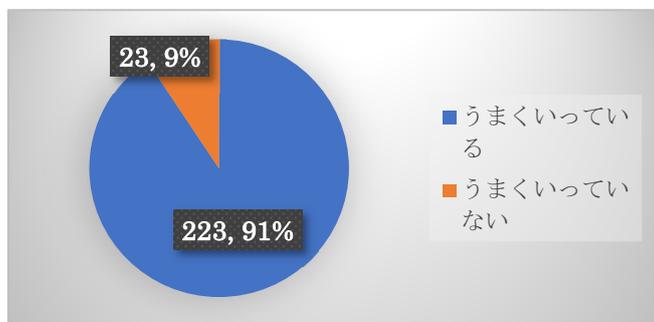


分析・評価

単位クラブでのサークル支援ありとの回答 41 クラブの内 26 クラブが支援されており、より一層の活動を期待します。

問 25. 貴クラブと自治会との関係は

- ① うまくいっている 223  
 ② うまくいっていない 23

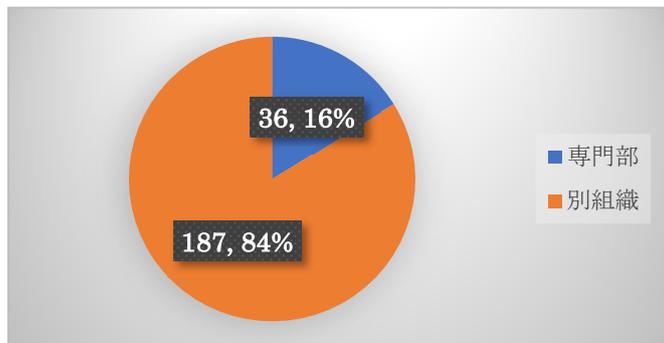


分析・評価

自治会とうまくいっているクラブが91%と圧倒的に多く有りがたいものであるが、うまく行っていないクラブが9%あることは残念であり出来るだけ自治会と協力して改善することを期待する。

問 26. 問 25 で①に記載された者に

- ① 自治会の専門部のようにになっている 36  
 ② 自治会とは別組織となっている 187

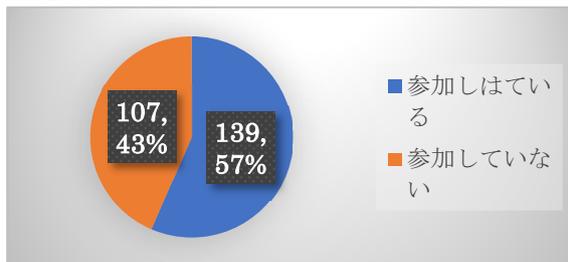


分析・評価

自治会とは別組織となっているクラブが 84%と多く、自治会とは協働・連携して友好関係を保ちベストな関係を作って頂きたい。

問 27. 自治会の定例会には

- ① 参加している 139  
 ② 参加していない 107



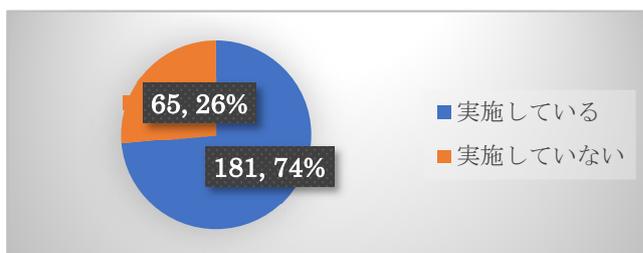
分析・評価

自治会の定例会に参加しているクラブが57%、参加していないクラブが43%と拮抗しているが、出来るだけ自治会には老人クラブの活動や内容を周知させる努力をお願いします。

問 28. 自治会との関係をうまくするには  
 7P 参照

問 29. 老人クラブの友愛活動について

- ① 実施している 181  
 ② 実施していない 65

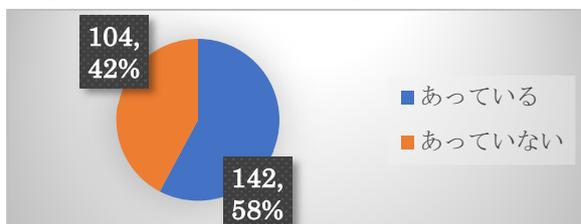


分析・評価

老人クラブの三大運動「健康」「友愛」「奉仕」であり、老人クラブの友愛活動は基本的なものである。活動していないクラブが26%もあることは非常に残念である。今後、地域包括ケアシステムの構築により老人クラブの友愛活動がもっと必要になります。

問 30. 友愛ボランティアヘルパーからの報告は

- ① あっている 142 ②あっていない 104

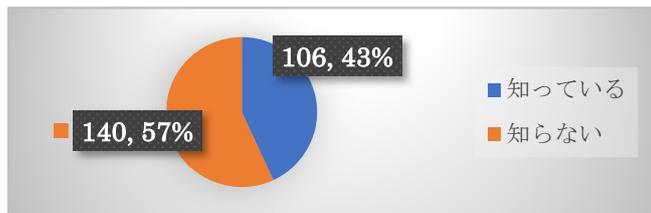


分析・評価

友愛活動の報告があっていないクラブが104、そのうち実施していないクラブが65で残りの39クラブで実施しているものの報告がされていないことが判明した。せっかく活動をしているので、報告はぜひ会長にしてもらいたい。

問 31. 平成 30 年度より地域包括ケアシステムが実施されることに

- ① 知っている 106 ② 知らない 140

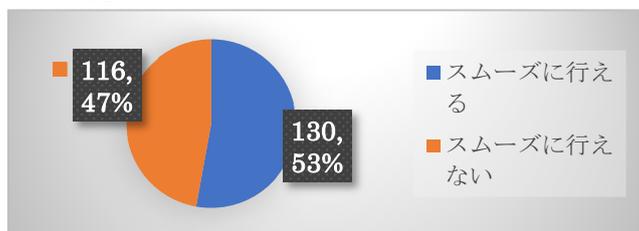


分析・評価

知らないが 140 クラブ 57%もある。今後、地域包括ケアシステムという言葉が頻繁に出てくることになりまますので、老人クラブ会員と共に積極的に活動が出来るよう協力をお願いします。

問 32. 老人クラブのボランティアヘルパーが地域での活動をスムーズに行える状態か

- ① スムーズに行える 130 ② 無理である 116



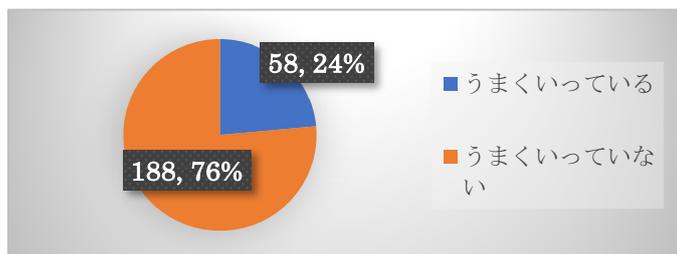
分析・評価

スムーズに行えるとの回答が 53%あり今後増えることを期待したい。

問 33. 問 32 で②無理であると記載された理由は 8P 参照

問 34. 100 万人会員増強運動の取組は

- ① うまくいっている 58 ② うまくいっていない 188



分析・評価

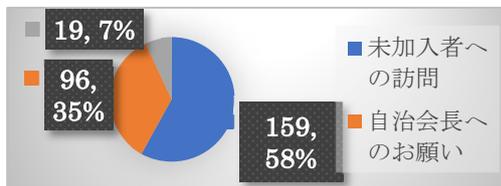
もううまくいっていないが 188 クラブ 76%とあり以外であった。100 万人会員増強運動が平成 26 年から始まり、今年で 4 年目である。各クラブ会長は努力されていることは十分に理解出来ますが、老人クラブの特性で死亡、病気脱退等でせつかく新入会員を確保しても+0 というのが現状であります、今後とも努力して会員増強に励んで頂きたい。

問 35. 問 34 で①と記載された者に理由は 10P 参照

問 36. 問 34 で②と記載された者に理由は 11P 参照

問 37. 会員増強の取組としてどのようにしたのか

- ① 未加入者への訪問加入勧奨 159 ② 自治会長へのお願い 96 ③ 何もしなかった 19
- 複数回答あり



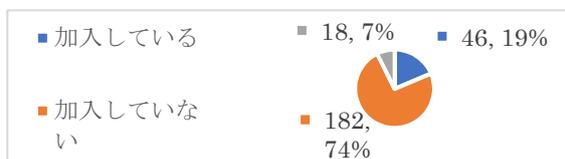
分析・評価

何もしなかったとの報告が全体の 19.7%あるということは誠に残念である。積極的に未加入者への入会勧奨を行って頂きたい。

問 38. 会員増強で一番の方法は 14P 参照

問 39. 全老連の保険に加入しているか

- ① 加入している 46 ② 加入していない 182 ③ 知らない 18

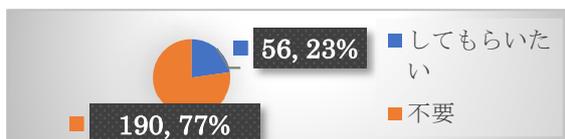


分析・評価

全老連の保険が意外に知られていないことが判明した。加入している会長が 19%ある。老人クラブ会員の為の保険であり出来るだけ加入して頂きたい。

問 40. 全老連の保険についての説明は

- ① 説明してもらいたい 56 ② 説明不要 190



分析・評価

老人クラブ保険は良いものであり、出来るだけ多くの会員に広めて頂きたいと願っています

問 41. 老人クラブの在り方について 16P 参照

## 問 22 ①を記載された方に改善した方が良いとは

- ・現状で精一杯
- ・見守りとか草むしり
- ・会計報告は改善して欲しい。会計が難しいのではないが、会員も増えない
- ・イベントの働き手不足
- ・旅行はやめた方が良い。危ない
- ・継続すること。花壇の水やり
- ・市の補助金で酒類以外の飲食費用への拡大要請。
- ・若年向きの行事
- ・出前講座の内容や旅行の内容の再検討
- ・負担金が多く、補助金が少ない
- ・サークル活動を広げたい
- ・会の活動の仕方
- ・役員の決め会、加入者年齢

## 分析・評価

改善したいと回答された 24 の内、13 件の意見がなされ、①補助金の会計報告の簡素化。②事業の見直し。③今後の役員の決め方。④若年者が参加出来やすい事業の検討。等前向きな意見がなされている。今後の活動を期待したい。

## 問 24 ①支援していると回答でいくら支援しているのか

3,000 5,000 3件 6,000 10,000 5件 12,000 2件 20,000 .3件 30,000 3件 40,000 50,000  
70,000 80,000 1人500円 イベントの都度お茶代 月800円 弁当代

## 分析・評価

サークルがあるとの回答が 41 ある中で支援しているとの回答が 26 あった。金額的には 3,000 円から 80,000 円まで差はあるが、平均して約 20,000 円程度が支援されている。財政面での余裕があれば支援を増やして頂き活気ある活動を積極的に広げて頂きたい。

## 問 28 自治会との関係を良くするにはご意見・提案があれば

- ・自治会の役員会に参加を要望しているが、現在参加していない。
- ・総会の折には案内があり、参加している。
- ・自治会の三役を単位クラブ会員として加入してもらっている。
- ・自治会の行事にはクラブとして積極的に参加する。
- ・総会のみ出席している。自治会主催での高齢者向けの行事がない。敬老会出席者は 120 人ほど。高齢者に限らず若い人達も参加できる行事が欲しい。
- ・自治会の違いで行事がうまくいかない。
- ・自治会行事と老人クラブ事業の日時が合わせにくい。
- ・自治会長自身、長生会に入っている人がほんの数名である。自治会長が入会してくれれば意思の疎通が良くなる。
- ・情報交換をする。
- ・自治会長同士は話し合っているが、三役も入れての会合があれば、いち早く自治会の動きを共有できる。
- ・長寿会(単位クラブ)行事の案内を行っている。双方の総会には出席している。自治会行事には積極的に参加している。
- ・自治会にも理解頂き良好である
- ・うまくいっている
- ・自治会組織の中での老人会組織は会費で運営しているもので、会費を負担して老人会活動まではやりたくないと思っている。自治会の中に於いて年齢が老人会会費資格が出来れば自動的に入会するようなシステムになれば若い自治会員へも話がやり易くなる。自治会役員からの積極的な近づきは少ない。むしろ、敬遠気味な気がして、こちらからもアプローチし難いのが本音。
- ・自治会行事には参加する。自治会長の相談に乗ってやる。
- ・話し合いの場を設ける。

- ・自治会構成の世帯主の約8割は65歳以上の高齢者であるため、構成メンバーがほぼ同じであり、いわば、限界集落でもある。若い世帯が増える施策ができない。
- ・各単位クラブとの情報共有
- ・地域の行事には参加すること
- ・自治会行事には協力すること
- ・防災会、サロン、青少年ふれあい会、地域の祭りで協調して伝統行事などを行っているので、スムーズに行っている。
- ・自治会行事になっている
- ・定例会に参加しているのでその際発言している。
- ・自治会長が老人クラブの定例会に出席し、協力・懇親をしている。
- ・河川清掃等には出来る方は老人会員さんも参加している。
- ・会長同志仲良くする事
- ・自治会、単位クラブ各三役での意見交換の場を持つ
- ・自治会区域内の清掃などボランティアをしている。
- ・自治会とのコミュニケーションを図る
- ・自治会との役員と連絡を密にする
- ・自治会はリーダーの自主性の場を作ってもらいたい。自治会長としての態度が良くない。会長の2人制は良くない。
- ・現状として地域自治会 →自治公民館 →・子供会・老人クラブ・体協
- ・自治会の各種行事ごとに各種団体の拡大役員会が実施され、行事もうまく運営されている。
- ・自治会の事業へのボランティア参加に文書などで協力している。
- ・4つの自治会の中で単位クラブがあるので接点はない
- ・老人クラブの活動を役員の方に理解してもらおう。災害等の非常時の際、老人クラブの会員相互の結束力の必要性を理解してもらおう。
- ・市老連又は市よりの補助金を多くして下さい。
- ・自治会の例会や役員会に参加する。自治会で老人クラブ会員増強のPRをして頂く。自治会役員、民生委員、福祉協力員、友愛ヘルパー参加の「地域福祉委員会」へ老人クラブ役員も出席する。
- ・会議の時はぜひ参加して長寿会の現状、これからの事等は説明し理解を求める。
- ・募集時の情報公開を。65歳になる人に市老連で自治会に要求できるようにすること。自治会では4月に家庭訪問調査しているが、個人情報保護のため教えてくれない。
- ・自治会との関係とは自治会全体ですかそれとも自治会の役員との関係ですか
- ・老人クラブを自治会の専門部会として見直しを検討する必要がある。
- ・自治会の行事に参加する
- ・とにかく参加する事
- ・自治会より助成を受けているので若干の自治体、公民館の活動費に支援した方が良いのだが、財源の問題でなかなか出来ない。市補助金はそっくり校区老連に上納されてしまう。
- ・自治会規約に老人クラブの役員選出の関係事項を加えて欲しい。
- ・自治会の下部組織と理解し、且つ、応援隊と認識し、なるべく協働して密なる連携プレーを心掛けることも必要。
- ・自治会長が老人クラブ会員であり特に関係に問題なし
- ・自治会長は老人会の会員になってもらう
- ・まちづくり協議会行事に積極的に協力、参加する。自治会長を会員にする。行事、活動を自治会に報告、連絡。目に見える地域活動をする。(花植え、高齢者の見守り、ラジオ体操等)

## 分析・評価

50の意見が出されている。自治会との関係をうまくしていく為には、老人クラブも自治会の中に入って積極的に参加し活動することが必要であり、自治会役員と老人クラブ役員が話し合っより良い関係を保っていく必要がある。問い27では、自治会の会合に参加しているのは139クラブ、57%となっているが、もっと参加してほしいと思う。

## 問33 32の質問で②無理であると記載された方の利用は

- ・何をどうすればよいか具体的な研修が必要である。
- ・要支援、要介護者は老人クラブのボランティアヘルパーに遠慮する傾向がある。
- ・ボランティアヘルパー自体が高齢者であり、これ以上枠を広げると余裕がない。

- ・民生委員とのコミュニケーション不足
- ・役員不足
- ・身体に異常のある人がほとんどである。
- ・自治会の行事の違いで、できません。
- ・老老介護は無理である。
- ・知力、体力がいるのは無理
- ・自治会、民生委員との関係
- ・高齢化している
- ・民生委員との兼ね合いもある
- ・民生委員もいるので深入りは出来ない
- ・役員の高齢化
- ・ヘルパーに成り手がいない。プライバシーに関わりたくない。若手がいない(60歳から74歳までの会員は48人中4名である)
- ・自分自身(行動)で精一杯の会員がほとんどであり、現在若返りを図っている
- ・体力が無理。何か問題があったとき、それを補う制度が何もない。
- ・老老介護になっている為。平均年齢が81歳以上の為。
- ・会員が70歳以上で協力できる人が少ない。
- ・時間的、内容無理解などで不理解の為
- ・高齢者が多く無理である。
- ・知識が全くない
- ・高齢で行動が無理
- ・支援ヘルパー活動を受ける側に考える方が閉鎖的で取り組みにくい。支援する側もある程度の面識があり、信用されなければ取組が困難なこと有り
- ・ボランティアヘルパー自身が高齢である
- ・高齢者ばかりで、人の世話する余裕はない。
- ・ヘルパー自体が高齢であり、止むを得ず名前だけ届けている状況である。
- ・民生委員さんがおられるから
- ・参加する人がいない
- ・みんな仕事等個人的な理由で出来ない
- ・高齢者が多く無理である。
- ・お互いどこまで立ち入れることが出来るかが問題である。
- ・電話等での安否確認は出来るが、訪問等は相手が負担を感じる。
- ・自治会、民生委員の関係福祉協力員など若い人が無関心。もっとヘルパーの活動をPRすべし。
- ・体力がない
- ・年齢が85歳以上の人ばかりだから。
- ・個人のプライバシーの問題で玄関を開けない。
- ・どうすればスムーズに行えるのかわからない。
- ・現在1人暮らしの方があまり居られないので元気にしておられるのか電話位しかしていない。
- ・関心がない
- ・高齢者や病人が多すぎる
- ・役員に成り手が無い
- ・忙しすぎる
- ・若手会員が少ない為
- ・会員不足
- ・スタッフの体調的に不安
- ・友愛ボランティアヘルパーそのものを知らない
- ・訪問すると多数の方が喜ばれますが、そうでない方もおられる。
- ・私自身が現在、佐賀市高齢福祉課や市社協、おたっしゅ本舗へ相談中です。
- ・家庭環境により思う様に時間が取れない等の声あり。
- ・ヘルパーを行う人が会員にならない。

- ・会員の参加について会員の年齢が高い為個人的に意欲がない。
- ・個人情報保護のため自治会、民生委員も何も教えてくれない。
- ・高齢者である、人材がない
- ・会員の趣味が同じもので組織しており、会員に対象者がいない
- ・会員外の方が多い
- ・老人クラブにボランティアがない
- ・ボランティアヘルパーが少ない
- ・高齢で現役で畑の仕事をしている
- ・高齢化して体力的に無理。新規加入者の見込みがない
- ・年齢的に健康ではあるが、他人の面倒を見るのには無理がある。
- ・ボランティアヘルパーより民生委員の方が活動し易い。
- ・営農集落の為、農作業以外の行事等は多くの参加者が確保できない。

## 分析・評価

老人クラブのボランティア活動がうまくいっていないとの回答は62クラブの報告があっている。内容として、民生委員との役割分担で友愛活動ヘルパーの法的な位置づけが明確ではなく、不明であり、個人情報やプライバシー保護との関係の問題。体力的な問題等、色々な問題がありますが、「出来る人が、出来る範囲で、出来る分だけ」での活動することも必要だと思う。

## 問35 34の質問で①と記載された方の理由とは

- ・毎年スムーズに新会員の導入が実現している。
- ・親睦旅行、スポーツ大会
- ・いろいろの自治会活動に参加して多くの方と話す。
- ・各地区連絡員(役員)からの情報を得ている
- ・半強制的に入会を勧めている
- ・会長、副会長で家を回って勧誘している
- ・未加入者への働きかけ
- ・第2の職場リタイアする情報を入手し、まず奥さんを説得しご主人に入会して貰った。
- ・人脈による拡大
- ・順次加入の方が入会を勧めている
- ・65歳になると4月より本人に老人会に入る様話している。
- ・会長としての信頼がない為では
- ・会員数を減らさないこと、世代交代を含め加入推進
- ・1年に1名増員
- ・高齢者の中でこじんまりやっている。
- ・皆さん協力的
- ・自治会との連携
- ・自然にやっている
- ・民生委員との連携
- ・28年度では赤松校区老連は1番となっている。STS通りの花壇は佐賀桜マラソンのコースとなっており、老人クラブで管理しており市から表彰を受けた。
- ・毎年3~4名が加入している。50名前後を維持している。
- ・自治会長、長生会長、その他と日頃から入会活動を行っている。
- ・少しずつではあるが、会員に話をしている。
- ・今年初めて会長の任務を任せ、毎月定例会時に皆さんの会員増強拡大運動について全員が前向きで雰囲気の良いと思う。
- ・自治会長と老人クラブ会長との連携で案内状を作成し、それを各役員が持参し分担して家庭訪問をしている。
- ・会員拡大目標の指示書どおり3年計画を達成している。
- ・入会していない人が多数いる。
- ・時代の流れで無理強要せず

- ・未加入者に声をかけている
- ・わりに会員に加入してくれている
- ・70歳になったら入会して貰っている
- ・入会者があっても死亡等により増大には苦慮している。高齢で施設に入られる会員さんには会報の配布で毎年継続会員なってもらっている。
- ・該当者が67歳で、65歳になった人に進めやすい。年上の方や今迄は行っていない人には進めても何かと難しいと思っている。
- ・若年の人が加入してくれるから
- ・毎年、年明けから65歳の方に加入促進している。
- ・参加者が増えた
- ・加入年齢が定められている
- ・自治会の定める年齢で(68歳で加入)
- ・65歳になれば必ず入会を頂いている。
- ・65歳での入会と決めている
- ・地区内にある程度会員の加入予定が見込まれる。
- ・3年前増強キャンペーンで24名の新規加入者があった。
- ・コミュニケーションが取れている
- ・老人会でGG大会など、楽しい行事をと話したりしている。

### 分析・評価

100万人会員増強運動がうまくいっているとの回答は58のクラブがあるが、44の意見がなされている。内容は、自治会とのムードである程度の調和と対話があれば、老人クラブに加入する制度となっている自治会があり、自治会の規約の改正や会長をはじめとして役員や会員一同となって加入勧奨活動を熱心に行われている所では加入率が高くなっている。とにかく、自治会とはうまくやってもらいたい。

### 問36 34の質問で②と記載された方の理由は

- ・若手の高齢者の入会が少なく、特に男性が仕事を持っていると言われる。
- ・役に付きたがらない・・・仕事が増える。
- ・会費を納めても老人会の行事に参加しないのでメリットがない。
- ・健康な老人がいない。又、健康な人は仕事を持っている。
- ・老人という言葉に抵抗が多い。
- ・会員の増員は日頃の活動の中で実施している。増員しても集会場が無い。
- ・校区公民館の空き具合の調整が必要。希望通りにはゆかない。
- ・毎年スムーズに新会員の導入が実現している。
- ・参加者が少ない。
- ・人間関係の絆が大切である。
- ・役員になされている。配偶者に体の異常がある。面白くない。
- ・役員で増強に取り組んでいる
- ・年齢が若いというのは65歳は・・・70歳になってからと言う
- ・増員の必要性がはっきりしない
- ・高齢入会者が亡くなり補充が追い付かない
- ・該当年齢になっても仕事をしている
- ・クラブ活動に入りたくない人が多い。利己的な人
- ・前期高齢者はなかなか入会しない
- ・75歳以上でも働く人が多い、高齢者で入会していても亡くなる人が多い
- ・高齢者で働く人が多く、なかなか良い返事がもらえない
- ・高齢者の逝去が若年者の入会が少ないのでどうしても増員出来ない
- ・若い人が入会してくれない
- ・高齢である
- ・若い人は仕事をしている為、無関心

- ・私のクラブは60歳以上になると老人クラブへとお願いしていますので、この下の年齢は5年以上は無理。
- ・訪問加入を行っても良い返事をされない
- ・入会年齢が70歳以上との暗黙の取り決めがあるので打破が出来ない
- ・祖母が入っているので入会は無理と言われるケースがある。私の所は園芸をやっている人が多いので思うようには出席しにくい
- ・市町村合併で市の行事にも参加することが多くなり増員が困難
- ・入会の希望者がいない
- ・クラブの活動内容を十分宣伝する能力が不足しているのを実感する
- ・制約が多すぎる。世帯数の割には高齢者が少ない。
- ・個々には訪問して入会を勧めているが、入会する人が少ない。
- ・入会をと思う人はなかなか加入しない
- ・役員が回ってくるのを嫌がっている
- ・自治会の構成は約300世帯で、ここ数年新しい町づくりとなっている。旧世帯数が1/5(62世帯)、4/5(238世帯が若い夫婦が多い)今日までは旧世帯を中心に会員増強を図ってきたが、男性が少ない。今後の課題としては、当面、年間の増強には厳しい状況が続くものと思われる。
- ・若い人は老人クラブに関心を持たない。又は避けている。
- ・若年老人会員の入会が無く、会員の高齢化が進んでいる。会員適合者の考えも入会すれば役員の担務が目に見えているので、入会しない。このままでは解散の兆し。
- ・その年齢に達しているのがなかなか入会しない
- ・若年層60歳から70歳が仕事をしている為、加入してくれない。また、頼めない。親と一緒に活動をためらう。
- ・若手が入会するように、勧めるのだが、中々受け入れてくれない
- ・なかなか理解が得られない
- ・まだ仕事をしているから
- ・老人会に参加する人が少ない
- ・60歳からの女性の未加入者の方へ老人クラブへの加入を勧めても尻込みする人が多い。男性の60代の人達が殆どいない。
- ・自分の仕事が優先してなかなか入会しない。
- ・該当者に誘いをかけるが、いい返事が来ない。
- ・まだ仕事を続けている。奉仕活動に動員されるだけで魅力がない
- ・65歳以下の方はまだ働いていて、老人会に参加する余裕がない。
- ・仕事をしている人が多く、まだ早いという人が多い。
- ・役員になるのが苦手で会員になれば役員をさせられるから
- ・若い人がはいてこない
- ・自分の好きな事をしたがる傾向にある。
- ・若い人が入らない
- ・老人扱いをされるから
- ・まだ仕事をしている人が多い
- ・老人クラブに入る魅力がない
- ・強引の勧誘は逆効果となる
- ・会長の怠慢
- ・70歳以上の方はまだ働いているので加入されない事情が多い
- ・最高齢者86歳以上、70代前半の人で働いているので加入が難しい
- ・加入年齢対象者の若者が無関心、高齢化で退会
- ・班長会には加入促進を呼びかけてはいるが、思う様にはいかない。対象者がその気にならないと。
- ・入会の案内をしてもあまり気乗りをしないので無理を言えない状態である。8月の誕生会にいごてだまを楽しく行ったら出席者の姉妹さんが老人会への申込をされた。
- ・新規加入者が望めない
- ・興味がない
- ・みな自分は若いと思っている。老人会は嫌われ者
- ・サロン会に参加している

- ・個人で楽しみを持って活動している。
- ・会員減少。入会者の減少皆無
- ・役員にされるから
- ・若い人が入会しない
- ・忙しくて1人1人会う機会が少ない
- ・入会を勧めても入会者がいない。拒否される。
- ・若い人の人材がいない
- ・会員補充で増員にならない
- ・高齢で退会が多く、入会資格者の入会が少ない。
- ・高年齢の方が多い
- ・自治会の役員をやっとされる程でなかなか加入しようとしな
- ・新興住宅からの参加が極めて少ない
- ・無理な目標
- ・老人会の行事で短大や女子高と老人クラブの交流会や老人クラブ旅行などにプリントを配って参加を呼び掛けている。その配り方を工夫している。
- ・農、魚、自営業が多いから、まだ自由な時間が取れない人が多い。老人会に入会するとすぐに役員にさせられる。
- ・65歳以上から募集しているが、小学校の行事等を含め、役員になったら行事への参加依頼も多く、役員に成り手がいない。入会したらすぐに役員にならなければならない。
- ・先輩達も入ってなく、後輩も入りたがらない。
- ・仕事が忙しくて協力してもらえない
- ・なかなか色々な理由で入会してもらえない
- ・成果があがっていない
- ・70歳以上の方はまだ働いているので加入できない事情が多く、75歳になったら入るといった意見が多い。
- ・会費の問題、事業が多い。
- ・対象者に勧誘するが実績が上がらない。
- ・老人クラブの存在価値が認められていない。老人クラブという名称が良くない。会員の顔を知らない。
- ・年齢が70歳になれば加入することを決める。
- ・若い人は仕事。老年は健康不安
- ・5年に渡り自治会総会の中で皆に長寿会入会を呼びかけているが、入会者なし。自宅を家庭訪問してもお願いしても入会者なし。
- ・入会の勧奨に当たり老人クラブの良さを上手に説明できず、中途半端な話で終わってしまった。
- ・入会者が少ない。よって、役員に成り手がいない。結果的に魅力ある行事等取組が出来ない。
- ・単位クラブの会員の生活を行っている部落の人員の減少で活動が出来ない。
- ・加入してもらえない
- ・会員になりたいと思う人はいない。一つは65歳になってもまだまだ働いている人が多い。
- ・判らない
- ・入会者がいない
- ・各人が色々な事業、行事で多忙である。
- ・70歳までは働いている人が多い
- ・定年の見直し等で70歳位まで働いている為、入会をお願いしても入会して貰えない。又、会員を増やしても市からの補助金以上に本部会費を納入しなければならない不利益もある。
- ・活動を休止したい旨の意見が多い。
- ・新しく転入された方が多くコミュニケーションが取れない。
- ・入会年齢を決めている
- ・入会する者がいない
- ・呼びかけをしても入会してくれない
- ・新規加入者がまったくない。
- ・若年(60~70歳)の勧奨が難しい
- ・勧誘に行ってもなかなか加入して貰えない
- ・2年に1回の役員決めるの時は勧誘を行う

- ・入会を勧めても入ってもらえない
- ・勧誘に行ってもなかなか入会して貰えない
- ・高齢者でも働ける健康者が多くて且つ、老人会という名に抵抗感が強い。
- ・新規会員は増加しているが、自然減が多く増加につながらない。
- ・加入率が70%弱になっている。
- ・取り組みや考え方はしっかりとやっていると思うが、成果が上がらない。そんな中でも、行事に参加した方が入会を約束してくれる人も出てきている。計画しても実行力不足。
- ・該当高齢者が少ない。

## 分析・評価

100万人会員増強運動がうまくいっていないとの回答が188クラブあり、121件の意見がなされている。65歳から75歳頃まではまだ働いている人が多く、なかなか老人クラブに加入しない現状ではあるが、老人クラブ活動を理解してもらう努力が必要である。老人クラブの三大運動「健康」「友愛」「奉仕」を基本として、仲間作り・健康づくりを基本として「楽しく・明るく・朗らかに」と楽しい老人クラブを作り上げていきたいものである。

## 38 会員増強で一番の方法は何ですか

- ・粘り強く何回でもお願いする事。
- ・それが判れば苦勞はしない。
- ・高齢化が進んでいるため、若年高齢者の加入を急ぎたい。
- ・会員による増強と自治会役員・民生委員からの紹介。
- ・敬老会でパンフレットを配布した。
- ・良く説明しないといけない。
- ・会の活動内容を検討の要あり。
- ・自治会の力を利用する。例えば、旅行、スポーツ行事。神社祭は役員のみ出席。それも当番者だけ。具体的に案内状を渡して親睦を図る。
- ・楽しみの行事が必要である。
- ・こまめに60歳以上の方と話をする。
- ・会員間の情報交換
- ・わかりません
- ・役員にて回っていく方法
- ・目的の明確化、自治会との連携
- ・70～75歳で入会してくれる人に勧誘出来れば
- ・自治会内での老人クラブ活動がうまく出来ているかどうかが一番だと思う
- ・70歳になる人には事前に勧誘の話を会員よりする
- ・財政面
- ・魅力ある長寿会を作り上げるには、財政面で難しい
- ・未加入者を訪問し、日頃の活動状況を良く知らせる
- ・会長、副会長、班長で各個に加入をお願いする
- ・未加入者の周辺の複数の会員で訪問し加入促進を行う
- ・人脈を通じたの勧誘
- ・住民の方と信頼関係をつくり、この人と一緒に行動したいと思わせること。
- ・魅力ある行事
- ・加入した時の身近なメリット
- ・訪問加入の回数を増やす
- ・話し合いでの薦め
- ・判らない
- ・民生委員さんを加入させたこと
- ・自治会との強力な連携と行政の協力
- ・行政による組織化
- ・自由にさせてくれる事

- ・個人的に勧誘するのが良いと思う
- ・会の活発な行事をする。興味を持たせるような活動。
- ・会員との関係を密にし、近い人を紹介して貰うことで、年間 2~3 名の増加となっている。28 年度から月例会を実施しており、老人クラブの「楽しさを・友達作りを」の基礎作りを始めた。効果は出ている。
- ・自治会組織の若年者を交えての交流が効果あると思われる。今の世代では交流そのものも容易な計画は出来ない。時代は確実に変わっている。老人会自体もあり方を考える時が来ている。
- ・老人クラブ活動の楽しさ、面白さを感じてもらふ活動をする。室内スポーツを各単位クラブへ本部が応援し、繰り返し行う。参加者は老人クラブ会員と以外の老人にも声掛けする。
- ・熱意をもって話をして、老人クラブのいい所を理解してもらうことが大事。
- ・一定の年齢に達した人の理解を得ること。
- ・自治会長へのお願いは厳しいことであまり合点出来ない。
- ・仲の良い知人友人を通じての誘い。
- ・細やかな勧誘だと思う。
- ・訪問加入勧奨
- ・個人に会って願ひするしかないと思う
- ・会員のボランティア活動が多いので少なめにすること。会員の特に男性は飲酒の機会を多くすること。会計で飲食代を認めること。
- ・老人クラブ活動の内容を理解させ、楽しい会にすること。
- ・魅力ある老人クラブにすること。年金を減らさないこと。
- ・75 歳以上を強制的に入会すること。
- ・健康な人だけではなく、多少病気がちの方も参加できる会をつくる必要がある。
- ・会計報告が難しくややこしいこと
- ・今後、地域包括ケアシステムを発展させて地域と老人クラブの元気な者が老人を支えなければならない時代が到来する。自治会で 75 歳以上は必ず老人会に加入して、地域組織の中核に老人会を強化育成することが必要である。
- ・1 軒 1 軒協力して下さい
- ・老人会員が隣高齢者に加入を勧めることだと思います。そのため、会員同士運動会を始め行事に参加する事です。
- ・各個訪問して勧誘すること。サークルや趣味のクラブで絆づくりを
- ・無理とは思いますが対象年齢に達した者は加入義務づけられないか
- ・魅力ある老人会にする事に尽きる
- ・自治会長の協力を得て訪問加入勧奨をする
- ・シルバーの名称又は老人の名称の他に盛年クラブと変えたらどうでしょう
- ・声掛けが必要
- ・本人に会って話すこと
- ・パソコンが出来る人
- ・直接会って内容を説明し勧誘する
- ・1 人 1 人会って呼びかける
- ・常日頃から地道に入会活動をする
- ・朝倉支部では公民館のサークル入会時に老人クラブ入会を約束させる。
- ・リーダーシップが出来る人がいない
- ・各クラブ間で集会の場の中での加入者の呼びかけ
- ・会員が友達、知人を紹介した方へ役員が訪問・加入を勧める
- ・孤立防止を含め、ロコミが大事。民生委員ではないので、隣は何をする人ぞ。
- ・自治会長と老人クラブ会長が案内状を持参して家庭訪問。現会員が未加入者への声掛け勧誘
- ・会員が知り合いに加入を勧めてもらう
- ・日頃の集いの場に声掛け出欠の確認など、常に会員と対面するなど参加率を高めている。毎年会員拡大活動をしており、会員拡大の必要性を訴えている。会員が加入するよう進めている。
- ・敬老祝賀会での PR
- ・会員で入会を勧める
- ・会員の会費免除及び上納金廃止。役員及び諸行事が多すぎる。
- ・いつも声をかける

- ・近隣の加入者からの声掛け
- ・訪問加入勧奨
- ・70歳になったらだれでもが自動的に入会して貰いたい。
- ・地道に活動すること。
- ・自治会に良く理解してもらおう。市役所職員などへ定年退職者セミナーで呼びかけてもらう。
- ・未加入者への訪問加入勧奨
- ・会員同士の面談お誘い
- ・老人会の活動を理解し、協力的なお願いをすること。
- ・65歳になったら自発的に入会するシステムをつくる。
- ・それが知りたい。
- ・本人が65歳になれば加入促進。老人クラブとサロンは分けないで、サロンは老人クラブの補完事業とする。
- ・仲間同士の例会に顔を出して老人会の現況等を説明する。
- ・会員による呼びかけ
- ・加入年齢に達したらさそう事
- ・会員は65歳で加入している
- ・会員増強するためには、老人クラブの魅力が必要であり、その活動のための資金は個人負担は限界があり、市等の補助の増額が必要と思う。
- ・入会年齢を老人会で決めてお願いに行く。
- ・自治会と協力して会員増強の運動を展開することが必要と思う。
- ・戸別訪問
- ・声掛けだけではダメ。組織に問題がある。自治会会員全体で組織加入が必要。
- ・強化期間(2週間程度)を定めてあらゆる方法をもって集中的に動く。
- ・粘り強く勧誘する事。
- ・友達同士で誘うこと。
- ・現会員との同行訪問。
- ・粘り強い勧誘
- ・楽しい事業が多くあり、仲間づくりの動機づけと地区の健康づくりの催し等アピールする。
- ・年齢適合者へ必ず訪問すること。
- ・仲良くなること
- ・サロン活動やまち協活動に参加した人に加入を話す。夫婦で加入して貰う。一般会員がその気になってもらい、日常生活の中で加入を話す。
- ・個人別に勧誘する
- ・訪問加入勧奨
- ・自治会会合や老人クラブ行事に参加し、親交を深める。

## 分析・評価

会員増加で一番の方法はとの問いでは、110件の意見があり、自治会長や民生委員に協力してもらい、会長・副会長・役員をはじめ会員全員で未加入者への加入勧奨を強力に行い、誠意をもって説得する必要がある。

### 41 単位老人クラブの会長として貴老人クラブの在り方をどのように思われていますか。

- ・市助成事業補助金は申請書並びに事業実績報告書についての要望として・・・簡単にしたい。現状では高齢者の役員では難しくて役員の後継者が出来ない原因ともなっている。
- ・クラブ理事は各種サークルへの参加、サロンボランティア等の役を兼務しているため、研修会・集会などの日程調整が難しい。
- ・男性の加入が少ないため、将来は女性会長も検討したい。
- ・組織が3自治会になったのは不明であるが、現在は分離は無理である。
- ・物品の斡旋によるクラブの事業収入に効果はあるも、加入すれば物品の購入を強いられると敬遠される。年に1回くらい実施。
- ・若年高齢者の加入に力点をおき若返りを図りたい。
- ・私のクラブは高齢化が進んでいて、又、若い会員は補助金対象で会員になられた方で役員に成り手が無く困っている

- す。又、単位クラブ独自の行事をしています参加者が少なく困っています。
- ・補助金、46,560円は何年も前よりの金額なので、増額してもらいたい。自治会の助成金も少しかつた。旅行は年に1回だけしているのを2~3回に増やしたい。食事をしたいと思っているが資金不足で出来なかった。
  - ・会長が高齢で活発な活動が停滞している。若手の後継者を決め市老連で積極的な養成研修を図る。女性(多数派)の会長を登用する。2期以上の任期を認めない。1期終了時には時期会長を任命する。
  - ・老人会行事が元気な高齢者主体で一般の高齢者は参加しづらい。高齢者や身体不自由な者でも参加できるようにする。例えば、送迎バスや資格のある高齢者の介護サポーターの活用。要支援者の介護保険給付打ち切りで高齢者による介護支援サポーター制度を進める。買物や軽作業等で高齢者同士で支援できる体制を確立する。
  - ・補助金申請について・・・申請・報告等の事務簡素化とクラブ会員数に応じた給付額とする。使途に制限を設けない。例えば食事会等。連合会・市老連等への上納金を出来るだけ減額し、クラブ活動に向ける。
  - ・自治会が別になっており、運営が良くないことになっている。予算が別になり、行事が出来なくなる。もっと良い方向に行くことができるのかと思っている。
  - ・自治会の役員(運営員で60歳以上の方)は必ず参加してもらおう。(除草作業には100%出席してもらっているし、効果もある。)
  - ・公民館にはカラオケを準備して欲しい(マイクに曲目を内蔵してあるもの)
  - ・自治会主催の行事には、自治会役員も応援に参加し、反省会も行い、親睦を深めてもらいたい。
  - ・各種団体役員の労をねぎらってもらいたい。(役員がしっかりしておれば、組織も活気が出ると思う)
  - ・新規加入の勧奨をするも、難しい。
  - ・長生会の名前にはこだわりが多く、自分は該当しないと考えている人が多い。
  - ・1年目でまだよくわからない。皆さんのなすがままに活動している。
  - ・地域の老人の見守りをしている。自治会の役員をしている。若い人の参加できるようなクラブにしようとしている。
  - ・月1回の定例会を出来るだけ楽しい会になるように努力しています。
  - ・毎週水曜日の午前中はクラブ内で自由参加で「ここにこ運動」を実施している。参加者は平均年齢83歳だが、皆元気で参加している。最高齢者は93歳(女性)ですが、運動の費用は0である。1カ月に1回くらいはお菓子位は出したい。自主参加なのでクラブの費用は使えない。(健康で長生きが目標)会長(役員も含む)の後継者不足が一番のなやみ
  - ・役員決めに関しては今まではスムーズにゆずり受けつがれ責任を果たしてこられたように思いますが、今は若い人が入らないので高齢者が役職を何回もするのが現状です。これからは大変です。組織や資金、自治会との関係は良好と思います。
  - ・役員の年齢を定年制にする。(成り手が無いため)
  - ・老人クラブと類似組織との調整が必要。サロン事業の対象者と高齢者が多い(会費のあるない)。サロン事業には上部組織がない・・・自由だ
  - ・敬老会への補助(75歳以上一律1,000円と聞く)は自治会ではなく、老人クラブへの助成金(補助金ではなく)としたら、老人クラブと自治会との連携がうまくいくのでは
  - ・要望・・・老人(75歳以上)の日常生活(①医者 ②買い物 ③レジャー等への)一連の循環バス等がなぜ計画実施されないのか
  - ・意見・・・老人クラブ組織が行政上必要な組織であるならば、自治会組織の中で行動した方が人事面で助かる(老人クラブの後継者が不足等)
  - ・自分の場合は順番とのことで自治会の役員をしてから次は老人会の役員と言われて現在行っている。現在行われている役員を2年であるが、次の人は経験のないまま、役員を受け不安のままているので半年くらいは役員会等に出席させれば皆様がどの様になっているか理解できるのではないかと。
  - ・現在の自治会長は老人クラブに対しては何も協力してくれない。
  - ・PCの極々基礎入門、例えばエクセルの簡単なSUM関数の利用方法等、すこし時間をかけて指導してもらえれば「老人の知的要求」おそるべしということになるかも・・・
  - ・入会年齢の暗黙の取り決めにより、ここ7~8年前より当単位クラブでは入会の70歳以上との取り決めがあり、その打破が折に触れ話をしているが難しい。
  - ・会員の各行事、作業等への協力はよくされているので、会長としては助かっている。
  - ・スポーツ行事が8~10月に集中して、会長として選手決めに苦勞する。地区大会、町大会、市大会、その上、老連大会以外(町体協、各種団体の大会)とあり、団体間の調整が必要ではないかと。
  - ・高齢者が多くなり、60歳以上の方に入会を勧めてはいるが年会費の件(12,500円)仕事を理由に意のままになりません。役員交替も例会の時に話しているのですが、なかなか引き受ける方がありません。病気をかかえて思うほど活動がで

きず、会員の減少にも頭の痛い所です。

- ・組織の維持が難しい(加齢による健康の衰え、死亡等) 新規加入で補う様努力しているが、なかなか思うようにはゆかない。又、年間予算が15万円にみたく、思う様な催し事が出来ず、老人クラブに加入して良かったと思われるような何か足りないような感じがする。日頃より老人同志が助け合って絆を強められたらと思う。
- ・サロンの立ち上げの誘いがあっていますが、サロンは会費が不要なので、現会員の横滑りが不安になっています。会員にはなっていますが、行事等に参加出来ない人をどうしたら参加させたらよいか課題です。
- ・諸行事には積極的に参加して頂いている。自治会ともうまく行っています。助成金より負担金が多いのは困ります。自治会からの助成金があるのでなんとかやりくりしているのが現状です。行事の際は会員により費用を頂いています。
- ・積極的に入会していないのに、入会すると役員にさせられたとの思いもあるのか。事業や活動の参加に積極的である。参加して貰う為には、何回もお願いする必要がある。会長のリーダーシップの強化が必要だ。
- ・会員に喜んでもらえる事業を模索中です。
- ・資金不足で自治会よりの助成金78,000円は助かっています。ソーメン販売等で補っています。このままでは、事業の縮小を考慮中。
- ・東部第一は70戸ほどあるが、各年代においてサークルがあり、老人会に入会しなくてもそれぞれの思惑でグループ活動をしている。(男性のグループ、女性のグループなどいくつかあり、活動している。)
- ・鳥栖市のように65歳以上は全員老人クラブ会員となるような政策があつてよいものだと思う。
- ・自治会と老人クラブは別組織であり、男性で当然老人クラブに入会してもらいたい方々が入会しない。自治会の組織の中に組み入れてはどうか
- ・老人クラブの組織としては必要と考える。しかし、現会員の高齢化と若年高齢者の入会減少により会員数の減少はどうしようもない。60歳から70歳までの自治会会員に声をかけても農業兼務の務めをしている人が殆どであり、老人クラブへの入会をためらっている。また、親が会員の人は親と一緒に活動を嫌がる傾向にある。
- ・サブとして佐賀市高齢者事業「サロン」を一時期実施し好評を得ましたが、世話人が集まらず2年でとん挫した。自治会の若い奥さん方が取り組んでくれないと老人が老人らの世話をするには限度がある。サロン事業は自治会に協力に働きかける方が長続きするのではないか。その中から、老人クラブの会員募集を働きかける方がやりやすいと思う。
- ・入会している老人同志のつながりはとても良いのですが、その年齢以下の人たちはまた別のグループで「今入会したら役をさせられるよ」が先になっているため、後続きが難しい。困っている。男性98歳から71歳 25名 平均年齢80.68歳 女性 93~69歳 29名 平均年齢 80.31歳
- ・単位クラブ内に会の運営に理解は持ってもらってはいるが、上位下達との在り様で事業運営を計画に沿って進める状態である。もっと考え方等の意見具申があり討議出来れば局面は変わると思います。若年会員の招致が急務となっている。
- ・運営資金については、自治会団体等の理解を得て現在の活動範囲であれば、良い運営ができると思う。現老人会の活動を見ていると自治会員もあり、評価の喜びを求めている人もあり、励みの一助ともなっている。自治会の中での全体的な取り組みとして、老人クラブへの入会意識が芽生えれば今後の希望は開けてくると思う。
- ・当クラブは区画整理事業により、ここ数年で様変わりした地域です。主産業の農業従事主力の60世帯、サラリーマンを主体とした若者世で合計300世帯となっている。 現状及び問題点 ①組織及び人事面では、クラブの構成は男子18名、女子30名の計48名。役員経験者は男子8名、女子13名でここ数年は後継者については繋がると思われるが、その先は見えていない。 ②資金面・自治会との繋がり、世帯が300世帯あることから、自治会からの資金援助は十分受けている。又、老人会のメンバーを中心とした福祉を行う行事、サロンも別途(代表者は別途)に展開しており、双方で月1回の例会やお食事会を展開しており、毎月2回のお楽しみ会は盛況である。いづれの会も代表者の存続が鍵となっており、今後自治会との協調を推進していけるかがカギとなろう。 ③老人会会員増強については、老人の愉しみは「飲んで・食べて・笑って」をモットーとし、健康で明るい生活を営んで欲しいと願って勧誘に励んであります。最近の政治の方向性で、年金の受給時年齢が引き上げられ、働き方の考え方を大きく変わろうとしています。将来、老人の適齢期が上昇すれば会員増強は困難視されることになる。
- ・毎月の例会には、23~25名の参加があり、例会後は皆さんで弁当を食べながら楽しく雑談している。その後、教養講座などもあり、各会員の趣味を見せ合ったり、クイズ等で盛り上がっている。カラオケもあります。増員計画も立ててはいますが思う様には進まないのが悩みの種です。積極的にやりたいと思っています。後継者が心配です。
- ・当会では毎月10日を例会と決め、参加者は70%位でみんなは例会を楽しみに待っていると思う。8月はお盆で10日が各家庭が忙しいとのことで、例会を休みます。当会は、高年齢の老人会で低年齢の新規加入をと考えていますが、思うにまかせず苦しいところです。自治会とは理解を得ています。④資金の援助も受けています。会計担当者の話を聞くと、市の会計監査が非常に厳しいと聞きます。会を運営する上では飲み食いも必要で正規な活動を行っている会

には多めに監査をお願いします。高齢ですがパソコン処理とはいかないと思います。長年手書きでやっていますのであしからず。

- 市老連から助成金が会員数によってランクを決めては現行の 30 名以上 46,560 円を底として考えて欲しい。食事会にも使って良いことにしたい。
- 市からの助成金の使途について、現行の基準制限をいくらかでも緩くして貰いたい。
- 物故者よりお金を頂くのは非常に難しくいただきにくいので、何とかして欲しい。
- 市老人クラブはどんな必要性があって、この様なアンケートを取るのか。その意味が理解できない。
- 1/2 以上は 70 歳以上で高齢化が進んでいる。若い人が入ってこない。
- 当クラブでは、次期役員になってくれる人もおり、行事等も積極的に参加・協力してもらっている。良い雰囲気の中で活動していると思っている。会員の増強については、強制的に勧誘しないで、自然加入に期待している。
- 今まで老人クラブは集まって食事するのみであった。これでは、出席しても面白くない。何か皆さんが会場に来て楽しめたり、役に立つものを採用しないと、会員数は減少するのみ。それに、ボランティアといって老人が清掃活動、見守り活動をするのは半ば義務化していることに反対だ。老人クラブの方向が会員減少に繋がっている。老人はそんな社会活動をする前に、健康で楽しく老後を暮らせること。(これにより、医療費が減り若者へのつけを残さないことになる。)若者に希望もてる社会を作り上げること。これが老人クラブの主目的であるべき。その意味から、せめて単位クラブで会合に楽しみにして出席されるよう少しずつ活動内容を充実するよう努力中です。
- 組織、自治会に協力
- 単位クラブの会長として頭の痛いのは金の工面であり、単位クラブが 1 年間の活動を限られた金額でどう活動するか。補助金の使途について、活動に制限しない。実際は市の補助金 46,560 円市老連負担金 33,710 円で差 2,850 円が単位クラブ資金である。
- 私たちの老人クラブでは会長と副会長を 2 年ずつ、計 4 年することになっていますが、特に近年は 70 歳過ぎで、家で仕事を出来る能力の人が多くて、老人クラブの行事があっても出席しない場合がある。老人クラブは自由意志で参加するのが本人にとっても他の人にとっても良いと私は考える。資金に関しては非常に少ない資金ですので、金のかかることは極力控えている。単位自治会も半数近くがアパート住民という現状では人との繋がりが無くなっているのが現状である。
- 先輩の意見に耳を傾ける他人の批判をしないこと。
- 現状のままでいいと思う
- ボランティア活動が多い。会計で飲食は出来ないから、出来るようにして欲しい。
- 老人クラブでの年齢差が大きく、スポーツ、ボランティア、旅行、外での食事会等、足が悪く参加出来ない、迷惑をかけたくないと思って不参加の方が多く活動が起こしにくい。花壇の手入れ、スポーツ、外での食事会、公民館での食事、座って出来る体操や座って出来るゲーム、体力測定等若手と高齢者向けに分ける。高齢者が出来る活動、若手が出来る活動、一緒に出来る活動とそれぞれの取組が必要と思う。
- 積極的な発言はないが、会長の思いのままに良きにつけ悪きにつけ、運営しているが影の発言はあっている気がするが、協力的である。自治会の組織はちゃんとできているが積極的運営ではない様な気がする。農業、個人事業主の為、組織運営の術を知らぬか、一年間無事終了すればよいと思うので自治会長を務めてる気がする。但し、大半の人は公役に積極的に参加されています。自分の集落は何事も自治会事業に「触らぬ神にたたりなし」に無関心を装っている。老人クラブと自治会、その他の高齢者は乖離している。理由として過去に個人的にいさかひがあった。会長、会計、女性部長を嫌がる(無知なのか陰では嫌いなのか)
- 役をすることは大変責任もあり、たえず気を配らなければなりません。でも、この大役をこなしてこそ自分も成長するものだと思っています。後継者をつくることも会長の役目でしょう。
- 現在の単位クラブ会長はまさに使い走りの役目を担っていることの認識が求められているとし、痛感している。並みの精神力では長続きは出来ない。努めれば十分と感じております。
- 会員間の仲は良い。会費の繰越金が減少しており、その分各種行事参加者の個人負担が多いので補助金の増額を望みます。
- 年会費 1,000 円は 75 歳以上の高齢者に対しては佐賀市から 1,000 円交付されているので、それを充当しています。75 歳未満は年間に 1,000 円徴収しています。
- 自治会から年間 10 万円の助成がありますので敬老会などに充てている
- 自治会と連携を取り合い、行事を行い、老人クラブは解散しても良い。
- 現自治会長になつてから、老人(敬老会)祝会等全くない。老人の対面対話の機会が全く無くさびしく思っています。
- 老人会の会員については 65 歳になれば自動的に老人会に入会となつており、高齢化社会では会員が増加するばかりで

- あり、会員年齢については70歳以上に引き上げる事も考えなければならない時期に来ているのではないのでしょうか。
- ・老人会単位クラブの組織は貧弱で会則もなく、会費徴収もなく、時々集まって会話程度の所が多く、したがってイベント活動は校区老人クラブ連合会に負んぶにだっこの状態が多い。老人会の今後の社会情勢からの必要をもっともつと理解を深めて真剣に会員増加の必要性を広めたい。
  - ・会員は商業で忙しい。参加が少ないが仕方ないと思っている。
  - ・先細り、後継会長要請に苦心。まちづくり誕生で老人高齢者が包割された。
  - ・自治会の例会には進んで参加しており、資金不足の時は申し出てくるようにと言われており自治会とはスムーズにいらっています。今後の運営の課題として役員の成り手が少なく困っています。
  - ・会員増強の一環として会員募集の文章を自治会にお願いして回覧として回してもらおう企画を検討中です。未加入者の勧誘の声を聞いたことがないとの未加入者が言いました。回覧がきっかけ作りです。
  - ・現在の当老人クラブは順調に行われていると思います。研修会は講師を頼んで話を聞くということについては頭の体操、世間の常識への遅れ等に必要な講義で皆好んで参加している。又、スポーツの面については町老連への参加は勿論ではあるが、部屋で出来る吹矢にも多数の者が参加を喜んでいる。自治会もボランティアで地区内のゴミ拾い等で美化運動に精を出す当老人クラブに協力的である。しかし、町老連の行事参加には車の送迎等バスが出れば参加者も増えるのではないかと思う。
  - ・老人会の名称に違和感がある。新規加入勧奨のための簡易なPR紙を作成したら奨めやすい。役員としてなりてがない。サロン会が気楽であり、その会へ流れている。縦の線が強く、横の連携が薄い。自治会三役と単位クラブ役員との交流の場が必要と思う。
  - ・当クラブは区画整理事業により、ここ数年で様変わりした地域です。主産業の農業従事主力の世帯、サラリーマンを主体とした若者世帯で合計300世帯となっている。現状及び問題点 ①組織及び人事面では、クラブの構成は男子18名、女子30名の計48名。役員経験者は男子8名、女子13名でここ数年は後継者については繋がると思われるが、その先は見えていない。 ②資金面・自治会との繋がりは、世帯が300世帯あることから、自治会からの資金援助は十分受けている。又、老人会のメンバーを中心とした福祉を行う行事、諸先輩の方が長年会長をされておりました。私が会長をするまで4名と聞いています。今まで、会長の順番がくる前に脱退をされて会員の数が少なくなっている現状である。今後、会長をされる人がいない。
  - ・名前だけの会員(会費だけ払っている)は辞めてほしい、弔辞が目的では。
  - ・会長、役員になる人の選任が大変
  - ・比較的若い人の入会があったけど、病気や家庭の事情で役員の引き受けがいない。
  - ・7年間単位クラブの会長をしているが、クラブ内の雰囲気も良く、特段の問題もない。個人の気持ちを尊重し、あまり無理強いはいらない。できる人が出来る時に出来るだけの事をする。後継者は現在育成中。
  - ・人事面で一番の難点は役員の後継者選任であり、苦慮する。当町内の各行事参加等の連携はうまく行っている。老人クラブ各行事開催について資金不足につき、超儉約の費用で開催している現状である。
  - ・人生100年の時代 入会資格60代の人はまだまだ老人の意識はない。よって、若い後継者が育たない。市の補助金のあり方で市、校区老連との協議が必要。
  - ・ボランティアでは対象者が同じ高齢者であり、サロンへ行き老人会は脱会の要因である。
  - ・人事面では役員の成り手はいない。いつまでもやっている。役員人事は2年が限度である。
  - ・役員に成り手がいない。会員が高齢で維持するだけで増員にはならず、苦勞している。私の地区では自治会役員は必ず老人クラブ会員として加入している。
  - ・私のクラブでは各役員の方の前向きな姿勢が良く、皆さんとの絆を深めてよく笑いの場をつくり、マンネリ化克服の試みで力強く活動を進めている
  - ・役員会の中に役員の方のOBを積極的に参加してもらい、役員会の伝達や単位老人クラブの運営の中に出来るだけ具体的な助言の提言をお願いし老人クラブの運営に改善を加えたい。たとえば、年度当初の総会の計画に関する助言依頼。会員増強に伴う計画や推進。各種行事の企画運営に関する助言。
  - ・会員自身の会へのかかわり方
  - ・当シニアクラブは年間2,500円を頂戴しておりますが、GG大会、新年会、花見、総会、社会奉仕、忘年会、日帰り旅行等の活動をしており、自治会からの助成金と行政からの補助金等でまかなうのは厳しい状況であり、個人よりこれ以上の負担も難しい。補助金の引き上げをお願いしたい。
  - ・5年間老人クラブ会長をしているが、自治会長の自治会の在り方について意識があまりないので、対話がありきたりになっている。自治会の役割について、自治会長などで基本的議論がされることを期待したい。
  - ・当老人クラブは自治会単独の老人会により、会の運営は会員の相違により自治会と相違のないように心がけて運営し

- ている。当老人クラブは部落単独の会により、会員も 30 名に満たない為、団体として認められず制約を受けている。会費を払わなければ会員以外の人は老人ではないのか。市内まで約 25 キロもあり自分の命を保険と交換できるのか。又、毎回他のクラブ員の車に乗って何も感じないのか。他に交通手段がないのに上層部は何も考えないのか佐賀市からの補助を受けていないが仲間になりたくても金の時代払えない。断念する人、役員人事、諸行事が多く断念する人、また身体が不自由な人、病院・施設に通う人でも会費を払う・・・何か考えさせられる事である。
- ・人事面については、すべての役職が順番というわけにはいかない。会長も大変だが、会計は特に難しいと言われ、お金の出し入れだけで済まないのも、もっとやさしい方法はないか。組織については、先輩たちが作って下さったもので会則もあり、老人クラブとしての組織はきちんとしているが、会則を知らない人が多い。資金面では、足りていると思える。これ以上会費は上げられないし、自治会からの補助金も望めない。単位クラブでは自給自足でやるしかない。「町づくり」という組織が H29 年に発足したので、そこで考えてもらいたいと思っている自治会との繋がりとしては、4 つの自治会で組織しているので、繋がりほとんどない。各自治会単位で食事会などされている処も把握していない。校区老連は自治会との繋がりがあり、補助金もあるが、単位クラブにはおりにくくはない。
  - ・会員の減少で中々入会して貰えない。高齢者が多く、体力を使う行事の参加が少ない。会員になられても月に 1 回の例会、その他の行事などに出席されない。私たちのクラブでは一寸強い人は少ないけど、行事などは割りに久出来ていると思う。
  - ・私のクラブでは 3 自治会で組織しているが、2 自治会では 70 歳になったら加入して貰っています。例会は毎月 10 日に行っていますが、皆さんは楽しんでこられており、例会後はみんなで歌を 3 曲程歌ってから終わります
  - ・自治会あるいは町内でそれなりの役目がある様に思う。住みやすい町である為には、ある程度の交流や顔見知りが必要で安全のためにも重要である。出来るだけ対象者全員が老人会に入りたいと思っている。
  - ・役員に成り手がいない。事業が多い。会費を払ってまで老人会に入会したくない。
  - ・会員増強運動について、老人クラブ関係者のほか、必要に応じて社会福祉協議会、自治会、民生委員等に支援をお願いして会員 PR 活動に取り組みたい。
  - ・26 年度 58 名、27 年度 52 名、28 年度 52 名、29 年度 50 名とほとんど会員数の変動は無いが、毎年 2~3 名の入会者はあるが、死亡者や体調不良者で退会者が多く会員増加とはならないのが悩みである。資金面では年会費、物品の販売利益、自治会からの活動補助金で何とか活動しているが限界がある。自治会との繋がりでは、自治会主催の GG 大会等運営協力している。町民体育大会へ老人クラブ会員も参加を呼び掛けている。9 月の社会奉仕の日では自治会内の公園や道路沿いを定期的に清掃している。自治会女性部と老人クラブとの公民館清掃を年 2 回実施により自治会との交流を図っている。
  - ・私が一番気になるのは、今現在、介護施設入所や病気で活動していない人たちからの会費徴収です。家族の人はいやな顔をされます。年度初めが大変です。どうしたものでしょう。
  - ・我々の長寿会は解散の危機に陥っている。3 町区での活動が分裂状態になっている。ある 1 町区より自治会を通じ話が持ち込まれ、私は今大変悩んでいるもし、今別れることになれば 2 町区は会員不足で解散するしかないからです。
  - ・加入増が見込めず行事もマンネリ化、解散の声も聞こえる。
  - ・会員の加入者が出てこない。組織の在り方を検討する必要があると思っている。何かいい加入策はないか。
  - ・地域での繋がり、助け合いの心が薄い。隣は何をする人ぞ。向こう三軒両隣の交流がない。何かを始めようと相談しても「誰も参加しないよ」と一蹴される。副会長の欠員補充も成り手がいない。現在も欠員のまま。北川副校区の自治会長で長寿会加入者は 30 町区中、1~2 人である。又、校区各種団体の会長、理事長での加入者は 0 である。校区 30 町区の会長、副会長、会計、庶務、監事、自治会役員と校区各種団体役員の加入促進を図ること。自治会役員へ町区団体も参加強化を願う。
  - ・若い人の入会が無く、また、役員に成り手が無く困っている。解散を考えている。婦人会も解散している。子どもクラブも会員減少と通学範囲が拡大されて、横のつながりが薄れて活動していない状況である。自治会の組織を見直して一専門部会として活動すれば、会員も増やすと考える。例えば、自治会長の下に①子供部会 ②婦人部会 ③高齢者部会 ④福祉部会(民生委員を中心として) ⑤防災部会(消防団を中心として) ⑥産業部会 等で組織する。老人クラブの役員に手当が無いことも、役員等に成り手がいない一因でもある。会長又は会員が行事等に参加出席したら 500~1,000 円の範囲で費用弁償を支給するように改善した。
  - ・単位クラブの会長、副会長が同じ年に他界され、しばらく会計係が代行していたが、突然解散の話を持ち出されびっくりした。この重大な問題は総会をもつて決すべきだと主張した。これまで 50 年続けてきた老人会を役員に成り手がいないことからと早急に結論を出すべきではないと反対している。そしたら、役員をしなくて良ければ入会すると 16 名が残ってくれ、現在 17 名で運営している。問題点としてあまりにも行事が多すぎる。ボランティア感覚が問題。若い人を加入促進するのが難点。

- ・現在のクラブはまとまりがあり、明るく元気で活動しているので、今のままで良いと思う。
- ・補助金の使い道に対し規制が厳しい。
- ・施設入所者の会員としての資格問題として①地域に家族がいる場合 ②地域以外に家族がいる場合で②については退会させても良いのではないかな。
- ・新しい住民が多いので、会員の加入が進まない。役員の成り手が無く、毎年苦勞する。
- ・2つの自治会で組織しているが、他にも合併して催している行事も多くあるので特別問題はない。
- ・市等からの補助金の増額を是非ともお願いしたい。
- ・個人の考えが違っているので人間関係が大変である。自治会とは話し合いながら自治会長も老人クラブの一員であり、意見を出し合い運営している。資金については、会費と自治会よりの助成にては事業すれば足りない分がある。
- ・定例会で講師等呼びたいが出席者が少ない時があり困っている。
- ・新規加入は80歳位の高齢者の方で役員をお願いをすると入会を断られる。その為、後任の人事に支障を来している。
- ・当クラブでは80歳以下18名34.6%、80歳から84歳14名27%、85歳以上89歳13名25%、90歳以上7名13.4%の52名である。高齢者が多く、地域的にも適齢者が少なく会員増強のための勧誘にも苦慮している。助成事業補助金について、老人クラブ活動助成金としての補助金報告書の簡素化、使用範囲についてスポーツ活動における弁当代位は承認して頂きたい。
- ・複数の自治会組織なのでやりづらい点が多い。
- ・事情が許すならば、一自治会一老人会が運営はやり易いので、ご支援、ご協力、アドバイスを宜しくお願いします。
- ・いずれ会長の交代を考えなければならないが、それまでに後継者をどうするか意見をまとめていきたい。60代から70歳前後の人と75歳以上の高齢者の方との活動の在り方が少し問題である。時には分けて活動する。各年代の代表で活動の在り方を話し合う。活動するとき基本的会費を取っているが、事情が許せば時には無料参加で懇親会や小旅行を試みたい。そのためには、自治会からももう少し援助してもらいたい。会員を増やす活動に役員等が訪問し増やとか意識して機会をつくり入会を勧める等の行動があまりできていないので、話し合いによって実行に移したいと思っている。
- ・入会率は70%近くにはなっているが、高齢や仕事などで活動する人が少ない。自治会や他の組織と兼任する老人クラブの活動に支障がある。他のクラブも同様と思う。
- ・入会会員は増加しているものの、高齢化が早いスピードで進み自然減少で会員の増加に繋がっていない。会員増加がないと組織の活性化が思う様に進まないし役員の負担が大きくなっている。
- ・市からの補助金を受けているが、年度末に決算報告を義務付けられており、クラブの生きがいは旅行会、誕生会などであるが、それらに支出したものは補助金からの支出が出来ないので困っている。一方、クラブでの活動は見守り活動や清掃活動といった経費が掛からないものが多く、毎年会計報告に困っている。もつと用途については制限を付けずに報告が出来ないものかと思っている。
- ・組織的に高齢化、若年会員の加入希望が無く、老人クラブ会員減少があり、老人クラブの必要性が薄くなっている。老人クラブに何でも動員を押し付けており、老人クラブは困っている。自治会と一体化することも一考か。
- ・男子会員の参加が少なくなっている。

## 分析・評価

128件の意見がなされ、今の老人クラブの現状がかいま見れる。若手会員の加入が少なく、役員の成り手が無い等、会員の高齢化に伴う課題が露呈された。単位老人クラブへの補助金の清算についてはもっと簡素化し、簡単にとの要請が多く、また、用途についても食事にも補助金が使えようとの要望が多くあっている。アンケートでも老人クラブの活動の中で人気のある行事として忘新年会、食事会等が上位を占めているのが判る。老人クラブの会員で女性が約6割を占めていることで、もっと女性の単位クラブ会長が増えることも必要であり、自治会との関係も良くなることが期待される。老人クラブとサロン事業との問題もうまくいくようにとの望まれている。単位クラブの会長や役員の任期の問題や会長として最長13年という長いクラブの会長もあるが、もしも会長が亡くなられた場合の後継者が育っていない問題がある。事例として、日新校区老連会長が1人でなんでもされていて本人が死亡され後任会長として会長をする人がいなくなり、校区老連が休止するという事になっている。こういった後継者がいないことを防止する対応として、役員に副を置き複数の役員が協力して運営していくことを強く望みたい。

## 単位クラブ会長へのアンケートに対する全体的な分析・評価

平成29年度佐賀市老人クラブ連合会に組織する単位クラブは305クラブであるが、今回、アンケートの回答があったのは246クラブであった。59のクラブ会長より回答が得られなかったのは残念ではあるが、校区老連の取りまとめ会長

としては、100%の回収を期待したが残念である。

老人クラブの会員は若年高齢者の加入が少なく、高齢化が顕著となっているのが確認できた。若年高齢者の加入勧奨を一段と進めて、老人クラブの活性化を図る必要がある。その為にも若手の参加を期待したい。単位クラブの会長も今一度、老人クラブ運営を見直し、楽しめる老人クラブへと皆で協力しあって作り上げていてもらいたい。

問題は、後継者育成という観点から、副会長や役職の分担により皆が話し合っ一緒に作り上げる老人クラブになってもらいたいのである。そのためには毎月の例会をきちんと開催し、皆で活動を共有していく事が大切である。

又、単位クラブの組織として、出来るだけ1自治会1老人クラブを原則として設立して頂き、地域全体で活動できるムードをつくってもらいたい。単位クラブの広報紙も出来るだけ毎月発行して頂き、未加入者や地域の皆にも周知できるように自治会の回覧の中に入れ込むようにして頂きたい。佐賀市老連では高齢者パソコン教室を開催しており、老人クラブ会員を優先して参加できるようにしておりますので、パソコン教室を利用して貰いたいと思います。

老人クラブの活動の中で人気があるのは、食事会、忘新年会、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、ゲートボール、旅行等色々な楽しみがありますが、サークル活動も取り入れて活発な活動をして頂きたいと思います。自治会とは情報の共有を図り、スムーズな運営を願うものであり、その結果、未加入高齢者も加入して頂くようになると思われます。会員拡大運動の取組としても自治会、民生委員等との連携等により会員増強が図られるものと思ひます。

全老連の「老人クラブ保険」については、高齢者への保険が少ない中で、老人クラブ会員を対象とした保険があり、傷害保険として「活動型」と「24時間型」があり掛け金が安く補償が多い保険となっておりますので、出来るだけ多くの会員に加入して頂きたいと思ひています。又、「老人クラブ賠償責任保険」が単位老人クラブ会員全員で加入する1人100円(最低30名未満の場合3,000円)があり、老人クラブ活動中で相手に損害を与えた場合には最高1億円まで補償される保険であり実に頼もしい保険であります。

老人クラブの会員減少の一因になっている役員の成り手がいないとか、老人クラブに加入して貰えないとの話がありますが、何度も言ひますが、楽しい老人クラブになれば、会員も増えるはずですので頑張っ頂きたいと思ひます。

